

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成21年8月13日(2009.8.13)

【公開番号】特開2007-25694(P2007-25694A)

【公開日】平成19年2月1日(2007.2.1)

【年通号数】公開・登録公報2007-004

【出願番号】特願2006-196113(P2006-196113)

【国際特許分類】

G 02 F 1/1343 (2006.01)

G 02 F 1/1368 (2006.01)

【F I】

G 02 F 1/1343

G 02 F 1/1368

【手続補正書】

【提出日】平成21年6月30日(2009.6.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

基板、

該基板上に配置され、第1副画素電極と第2副画素電極とを含む画素電極及び
該画素電極に対向する共通電極を備え、

前記第1副画素電極は、互いに平行な一対の屈曲した辺を有し、

前記第2副画素電極は、互いに平行な一対の屈曲した辺を有し、かつ前記第1副画素電極の高さより高い液晶表示装置。

【請求項2】

前記第1副画素電極が前記第2副画素電極に、長さ方向で隣接している請求項1に記載の液晶表示装置。

【請求項3】

前記第1副画素電極が前記第2副画素電極に、高さ方向で隣接している請求項1に記載の液晶表示装置。

【請求項4】

前記第1副画素電極の屈曲した辺と前記第2副画素電極の屈曲した辺とでは屈曲方向が異なる請求項3に記載の液晶表示装置。

【請求項5】

前記第1副画素電極の長さが前記第2副画素電極の長さと等しい請求項1に記載の液晶表示装置。

【請求項6】

前記第2副画素電極の高さが前記第1副画素電極高さの2倍である請求項5に記載の液晶表示装置。

【請求項7】

前記一対の屈曲した辺の屈曲点間を結ぶ直線に対し、前記第1副画素電極と前記第2副画素電極との各々が対称である請求項1に記載の液晶表示装置。

【請求項8】

前記一対の屈曲した辺が凹辺と凸辺とを含み、前記第1副画素電極の凸辺が前記第2副

画素電極の凹辺に隣接するか、前記第1副画素電極の凹辺が前記第2副画素電極の凸辺に隣接している請求項1に記載の液晶表示装置。

【請求項9】

前記一対の屈曲した辺が凹辺と凸辺とを含み、前記第1副画素電極の凹辺と前記第2副画素電極の凸辺とが連続的に配置され、かつ、前記第1副画素電極の凸辺と前記第2副画素電極の凹辺とが連続的に配置されている請求項1に記載の液晶表示装置。